

番号	あっせん人	性別	職業	実務歴	対応外国語	経験・資格等
1	原口 薫	男	弁護士	27年	英語	米国大学ロースクール留学・修了。ニューヨーク州弁護士。国際案件の取扱件数100件以上。
2	早川吉尚	男	弁護士, 大学法学部教授	11年	英語	(元)ハーグ国際私法会議日本政府代表、国際案件を含む仲裁・調停案件での仲裁人・調停人の経験多数(50件以上)、米国大学・英国大学カレッジ・豪州大学等の海外の大学で講義や研究活動も行う
3	水野多栄子	女	弁護士	34年	英語	米国大学ロースクール留学、法学修士。米国ニューヨーク州弁護士、東京家庭裁判所調停委員経験6年、東京地方裁判所民事調停官経験4年、東京弁護士会あっせん人・仲裁人経験15年
4	大谷美紀子	女	弁護士	26年	英語	米国大学院修士課程に2年間留学 取扱分野は家族法のみ(うち7~8割が国際家事案件、特に、離婚・子の親権・監護権・面会交流事案)、東京家庭裁判所調停委員 英語による執務歴としては、国連人権高等弁務官事務所インターン、米国の2つの大学のロースクール、その他外国法曹対象の国際人権法セミナー等で英語による国際人権法等の講義、英語による弁護士職務歴約14年、国際家族調停研修受講
5	本多広高	男	弁護士	11年	英語	法学修士(アメリカ法)International Bar Association Family Law Committee -- International Liaison Officer
6	松野絵里子	女	弁護士	16年	英語	大学在学中に英国留学の後、アメリカの投資銀行勤務を経て大手国内渉外事務所にて英語での交渉案件に10年以上携わった。その後、主に家事事件を扱いたいとの目的から独立し、現在は国内及び渉外の家事事件、紛争案件を取扱っている。家事事件の中では可能な限り面会交流の実現に努めている。斡旋案件については、現在、証券・金融商品あっせん相談センターのあっせん委員を務めており、短期間での和解的解決の多数実績を有する。
7	大島佳奈子	女	弁護士	17年	英語	英国サウサンプトン大学法学修士 2006-2012千葉家庭裁判所家事調停官 2012-現在 東京家庭裁判所家事調停委員

8	難波 満	男	弁護士	16年	英語	英国大学経済政治学院修士, シンガポール大学客員研究員, 代理人として相当数の国際/国内家事案件に関与, 相当数の外国法人・外国人を当事者とする案件で英語による執務の従事
9	鈴木 雅子	女	弁護士	16年	英語	米国大学ロースクール留学、卒業 渉外家事案件を含む家事案件の取り扱い多数あり 依頼者が日本語を使えない事案の取り扱い多数あり
10	矢吹公敏	男	弁護士 大学教授	29年	英語	米国ロースクール留学、法学修士 米国ニューヨーク州弁護士 国内大学大学院国際企業戦略研究科教授
11	今里 恵子	女	弁護士	28年	英語	ジョージ・ワシントン大学ロースクール卒業 東京簡易裁判所調停委員 東京地方裁判所鑑定委員 東京都中高層建築紛争調停委員 杉並区要保護児童対策協議会委員
12	土屋 智恵子	女	弁護士	15年	英語	2005年 ニューヨーク大学ロースクールL.L.M 2005年8月-2006年5月ハーバードロースクール客員研究員 2006年 ニューヨーク州弁護士資格取得 2012年9月-2015年5月 国際原子力機関(IAEA)ウィーン本部勤務 2010年3月-現在 東京弁護士会あっせん人・仲裁人に登録  離婚事件、海外資産のある遺言執行者等の経験有り
13	青木 聡	男	大学教授、 臨床心理士	23年	英語	国内大学人間学部臨床心理学科
14	小田切紀子	女	大学教授、 臨床心理士	28年	英語	国内大学人間社会学部

15	大西真美	女	大学臨床心理学 教員／臨床心理 士／家族心理士	12年	英語	東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース博士満期退学。国内大学心理社会学部臨床心理学科にて専任講師。心理士として子育てや結婚・離婚に関する相談、また家族に関する海外の方の相談業務にも従事する。
16	大場 亜衣	女	ソーシャルワーカー	12年	英語	社会福祉修士課程修了 (MSW)・社会福祉士・国際養子縁組、国際結婚・離婚に係る相談事業に従事する。